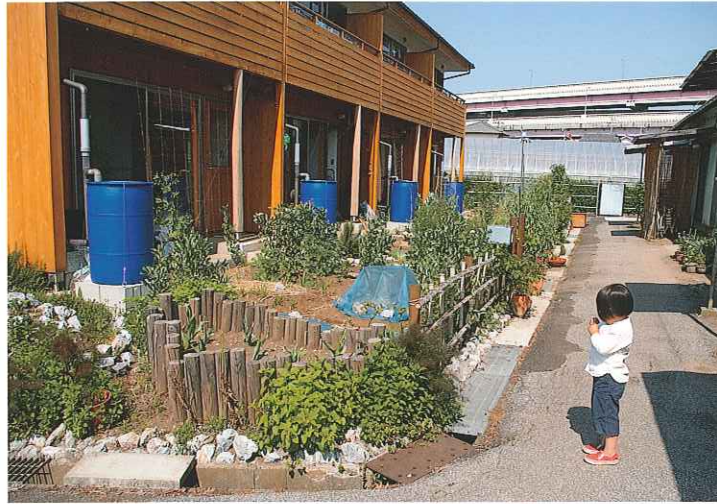


画一的な間取りに何の疑問もなく生活を合わせていることは、不幸な状態です(吉里裕也)。新材で健康を害した人は多数いますから、健康に配慮にした賃貸のニーズはとて高い(土田直樹)。ソフト、ハードともに良質で個性的なシェアハウスをつくれれば、ビジネスは成立する(安生マサル)。



## 特集 求む! 賃貸住宅の新しいカタチ

東京R不動産=「普通のワンルームマンションは紹介しない」

「音楽室・ホール付」千葉学建築計画事務所

「庭付きエコアパート」ビオフォルム環境デザイン室

「自然素材・電磁波対策」レジナ

「敷金・礼金・保証人不要のシェアハウス」Mアンジョウ設計

「伝統構法型・松陽台団地」武田建築事務所

「創路発コレクティブ型・遠矢団地」アトリエブク

Q&A=「じっくり選ぼう! デザイナーズマンション」

医療・福祉の現場から「自立したくても、借りられる『住まい』がない」

「建てない」「入れない」「追い出す」都営住宅



古川保の伝統構法万歳! | 太陽光発電に費用対効果はない

論評 | 胎児を基準に建築デザインを=森千里

設計事務所ダイアリー | 三澤文子

オピニオンの視線 |

紛争処理人として、貧困・紛争地域の平和を構築=伊勢崎賢治

モダニズム建築のメッセージ |

公営  
阿佐ヶ谷住宅  
=松隈洋



美しき構造設計の世界⑥  
陶器浩一



今はコンピューター万能の時代で、何でも出来てしまう時代である。空間の自由度は格段に広がったが、一歩間違えれば機械に人が使われて創造性を失うことになりかねない。いくら技術が進歩しても一番大事なものはモノづくりの「感性」であろう。